



園芸課
小棚木 佑亮

夏場の野菜管理

天候に合わせて

上手に育てましょう！



夏は、暑い日が続いたり、大雨が降ったりと、野菜自身も体力を使う過酷な時期です。天候に合わせて上手に育てると、元気に夏を乗り越えることができます。夏場の管理について、果菜類・葉菜類に絞ってポイントを紹介します。

【ポイント1】全般

①害虫に気を付けましょう。アオムシ類など作物を食べる虫も多くなっていますので、被害が多くなる前に適切な消毒等を心がけましょう。また、ハダニの発生にも注意しましょう。

②病気にも気を付けましょう。雨が多くなると、病気が発生しやすくなります。病気が出る前の消毒が一番大事です。

【ポイント2】果菜類

●収穫遅れや収穫忘れがないようにすると、作物の体力消耗を最小限にすることができます。また、曲がったり、傷ついた果実は早めに摘果することが、夏を乗り越える秘訣です。

●定期的な追肥を行いましょう。果実を収穫すると、その分だけ肥料を消費していることですので、適量の追肥をして、栄養補給しましょう。

●葉や枝を適度に繁茂させると、暑さや乾燥に強くなります。逆に葉や枝を適度に取って風通しを良くすることで、病気が発生しにくくなります。その年の天気によって繁茂させる程度をコントロールしましょう。

【ポイント3】葉菜類

●雑草はできるだけ小さいうちに除草しましょう。害虫発生の原因になります。

●害虫が着く前の薬剤散布を心がけましょう。

●ハウレンソウなどの暑さに弱い作物の場合、白い遮光ネットなどを使用すると元気に生長しやすくなります。



夏場は、涼しい時間帯に作業するなど育てる人も熱中症に十分注意して野菜作りしていただきたいと思えます。

◇お問い合わせ◇

営農経済部 園芸課 0182-2316578